

YPUドリームアドベンチャープロジェクト2012

採択プロジェクト決定!!



選考の結果、以下の7プロジェクトが採択されました。



◎A部門

	プロジェクト名	プロジェクトのねらい	代表者
1	県大PR団体 学生広報チーム	山口県立大学の主に学生の自主的な活動の情報を外部へそして県大生へ向けて、映像・写真・紙等の媒体を利用して情報発信する。大学のHPや学生広報チームのHP等に情報を掲載し、大学の宣伝と共に学生の自主的な活動の更なる発展の助力となる。	文化創造学科 4年 納富 愛
2	One Bite of Fair Trade with YPU TFT Project	現在「地球市民」という言葉をよく耳にするが、これは貧困等の地球規模の問題解決に向け、地球に住む一員として、日常生活の中で自分にできる身近なことを実践していく人のことを指す。この言葉をよく耳にするようになり、日本でも、発展途上国の支援をする市民活動は近年急速に成長している。しかしながら、ここ山口県を含む「地方」では、国際問題に対する人々の認識さえあまり高くない。そこで、フェアトレードやTFTといった国際問題の改善ツールを活用し、地域の人々や学生に啓蒙活動を行う。「食べる」という、日本人であれば誰にとっても当たり前である行為が普遍的ではないことを、フェアトレードやTFTを通して理解する。また、日常生活の中に「国際支援」を簡単に取り入れることができると気づいてもらう。そして、人々の国際問題に対する関心を高め、賛同者を増やし活動の拡大をはかる。	国際文化学科 2年 高橋 知里
3	県立大学発、地域活性化 アイドルユニット結成プロジェクト	近年、全国各地で「アイドルユニット」が結成され、チャリティーイベントや観光PR等に活躍し、地域の活性化に大いに貢献しています。そこで、県立大学発のユニットを自主的に結成し、地域と大学とを繋ぐ架け橋になりたいと考えています。具体的には①福祉施設でのイベント出演等を通し、地域に元気を届けたい、②宮野の名所や県立大学内でプロモーションビデオを制作し、宮野や県立大学のPRに役立ちたい、と考えています。	文化創造学科 1年 柴田 麻世
4	けんだいカラー -YPU世界人ニュース-	日本人学生やアジア・欧米からの留学生のそれぞれの視点から捉えた日本と世界の文化を県大生新聞の形で地域に発信することによって、地域の方々(高校生含む)及び県大生自身の異文化理解を促進することと元気いっぱい活発な県大生の特徴「けんだいカラー」をアピールすること。	国際文化学科 3年 王 芹
5	～大学生が町にやってきた!～ 「おいでませ 紙芝居へ」企画	①山口の昔話を題材にした紙芝居をオリジナルで作成し、地域文化の魅力を再認識したい。 ②地域の子供たちを対象に紙芝居を実演することで、地域文化について認識を深め、山口に関してさらなる興味と愛着を持ってもらいたい。 ③上の紙芝居を数種作成し、山口県立大学キャンパスをはじめ、宮野駅などの地域交流センター、さらに可能であれば一の坂川周辺でも紙芝居を実演し、大学と地域の子供たちとを繋ぐイベントとしたい。	文化創造学科 1年 山本 麻祐子
6	YPU SWEETS PROJECT	栄養学科の強みである臨床栄養学分野の知識や経験を活かして、血糖コントロールを必要とする糖尿病患者さん向けの、1個80kcalでボリューム感があり、満足感を得ることのできるお菓子を開発する。実際に、山口県小児糖尿病患者 山口会のキャンプをはじめとする糖尿病患者会や、すこやかライフセミナー等での提供を行う。昨年度、コープやまぐちでの試食販売で地域の方からいただいた意見も参考に、山口県立大学のアピールにもつながるようなお菓子を開発する。	栄養学科 4年 松浦 瞳

◎B部門

	プロジェクト名	プロジェクトのねらい	代表者
1	キャンパス内「憩いの小径」を 作る計画	YPUキャンパス内には緑のきれいな場所が沢山あるのに、あまり使われていない(正門前の芝生に置かれたベンチ・校舎横・食堂前)ことを残念に思っています。そこで、学生も地域の方も気軽に楽しめる「憩いの小径」をつくり(8箇所を設定し、ベンチ等を設置するほか、地域と大学の情報を紹介する掲示も貼る)学生と地域の方々との交流を促したいです。	文化創造学科 1年 伊藤 彩香